

## 卒業式(送辞)



校庭の桜の蕾も膨らみ始め、春の兆しを感じる季節となりました。今日という日を迎えられた三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。卒業証書を受け取られた際の、皆様の凛々しい背中からは、山中生としての誇りや品格を感じ取ることが出来ました。そんな憧れの先輩と過ごせる時間も、本当に残り僅かとなっています。私の心には、先輩方と共に過ごした思い出が鮮明によみがえり、寂しさで一杯です。まず初めに思い浮かぶのは、運動会でのたくましい姿です。三年生の学年種目である大縄跳びでは、強い絆で結ばれたクラスメイト同士で声を掛け合いながら、精一杯取り組んでいました。全員リレーでは、どんなアクシデントが起ころうと、最後まで諦めずに全員が全力で走り切っていました。そんな先輩方のはつらつとした姿は、今まで培ってきたものの集大成が存分に発揮されている様で、感動を与えるだけでなく、私たち後輩の闘気を奮い立たせるものでもありました。競技だけでなく、行進や応援などでも、後輩の手本となってくださったおかげで、運動会は成功へと導かれていきました。

合唱コンクールでは、二週間という練習期間で、三年生は私たち後輩よりも完成度の高い合唱をされていました。山中初の行事であり慣れない事が多い中でも、先輩方がリーダーシップを発揮し、技術的な面だけではなく、クラスの団結力、本気で取り組む姿勢など様々な面でお手本となってくれていました。

このように、行事では先輩方は私たち後輩に強い存在感を示して下さいました。しかしながら、私が一番印象に残っているのは、学校生活で随所に見られる最上級生としての姿でした。朝礼での整列の早さ、掃除に丁寧に取り組む姿勢。また、整然とした教室。見習うべきところが沢山ありました。行事が日常の延長であるというのは、まさにこの事だと実感しました。委員会活動では、後輩に優しく接し、難しい事柄も一緒に考えて下さりました。分からない事を質問させていただいた時も、分かるまで丁寧に答えてくださりました。部活動でもお世話になりました。私の所属する部活では、先輩より後輩の方が人数が多く、まとめるのが大変だったと思います。それでも先輩方は、迷惑だという素振りを一切見せず、私たちに声をかけ続けてまとめてくださいました。

そんな先輩たちが今日卒業し、今度は私たちがこの東山中学校を引っ張っていく立場になります。先輩方が今まで築き上げてきた伝統を引き継ぎ、皆様が安心して卒業できる様、在校生一同、協力していきたいと思います。最後になりましたが、皆様のご健康とこれからの益々のご発展を心より祈って、送辞とさせていただきます。

在校生代表 高田 匠